

国語科シラバス

学科	電気	学年	1	教科名	国語	科目名 [単位数]	現代の国語[2]	
教科書	50大修館/現国707 新編現代の国語							
目標	国語を適切に表現し、的確に理解する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力を伸ばし心情を豊かにする。加えて論理構造の把握や、それを用いて効果的に伝達を行うこと、その資質の向上を図る態度を育てる。						評価の観点	
評価 規準	観点①知識・技能 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けることができるか。 観点②思考・判断・表現 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるか。 観点③主体的に学習に取り組む態度 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとすることができるか。						①知識・技能	
	概要	様々な文章を通して、実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、言葉を用いた他者や社会との関わろうとする態度と表現力を育成する。						a 読 b 話・聞 c 書
学期	単元名	項目名	主な学習内容					
1	ことばをひらく	「変わる」ことを楽しもう	随想を受けて、高校生活で取り組みたいことを作文する					
		コミュニケーションは技術だ	随想の読み方を学習する					
		ことばの準備体操	ペアで話すための基本を学ぶ					
	日本語を使いこなす	ことばの使い分け	話し言葉と書き言葉の違い、主述のねじれ、接続表現等について学習し、練習問題に取り組む					
		正しく書こう	文を整え文をつなぐ					
		伝わるように話そう	スピーチの基本を学習し、実際にスピーチを行う					
	中間考査	ことばを使いこなそう	複数の随想を読み、その要旨を捉える					
		わかりやすく説明する	グラフの読み方を学習する					
		説明のしかたをとらえよう	対比、具体抽象などの論理構造を学習する					
	補習	パンパーワンかオンリーワンか	接続詞に着目して論旨を捉える					
		生きることと食べることの意味	図を文章で説明する際の留意点を学習する					
		絵や写真を説明しよう	図を文章で説明し、互いに評価する					
	期末考査	料理レシピを書こう	情報を取捨選択して、実用的な文章を書く演習を行う					
		ショートスピーチをしよう	聞き手を引き込む話の展開の例について学習し、実際にスピーチを行う					
		聞き取りのレッスン	必要に応じてメモを取りながら正確に聞き取る力を身に付ける					
補習	ミニインタビューをしよう	インタビューの手法を学び演習を行う						
2	わかりやすく説明する	聞き取ったことをまとめよう	収集した情報をまとめる方法を学習する					
		インタビューのコツ	インタビューについて書かれた随想を読み、その要旨を捉える					
		論理を読み取る	段落間の論理関係の読み取り方を学習する					
	読書の広場	オカピの胃袋はいくつか	具体抽象の関係になっている段落を読み取る					
		商品と贈り物の違い	対比の関係になっている段落を読み取る					
		水の東西	文章全体で対比されているものを読み取る					
	中間考査	読書の広場	文章を参考に、紹介したい本を決めてスピーチとして発表する					
		ももこのいきもの図鑑	紹介したい本のPOPを作成する					
		本のPOPを作ろう						
	補習	伝え合いのレッスン	対話の際に留意することについて学習する					
		テーマを決めて話し合おう	話し合いの目的に応じた進め方を学習する					
		コミュニケーションのヒント	演習として話し合いを行う					
	期末考査	コミュニケーションのヒント	コミュニケーションについて書かれた随想を読み要旨を捉える					
		説得力を高める	複数のグラフを比較して情報を読み取る方法を学習する					
		意見文の基礎を学ぼう	接続詞を用い説得的な文章の構成を学習する					
補習	反対意見を想定した意見文を書こう	反対意見を想定し、意見の説得力を増す方法を学習し、実際に意見文を書く						
補習	ミニ討論会をしよう	ディベートの方法について学習する						
補習	ディベートをしよう	ディベートを行う						
3	説得力を高める	自分の意見を持つために	評論を読み要旨を捉える					
		情報と向き合う	クリティカルリーディングについて学習する					
		情報の力関係	図画を交えた文章を読み要旨を捉える					
	他者を動かす	世界は私にほぼえんでいる	主張の根拠を意識して文章を読む					
		どこもかしこもプラスチック!	グラフと主張との関連を考えながら文章を読む					
		レポートを書こう	レポートの書き方を学習し、必要であればグラフなども用いてレポートを書く					
	期末考査	メディアとの付き合い方	ICT機器を用いて、作文を行う					
		相手を動かす依頼状を書こう	評論を読み要旨を捉える					
		相手に動かす依頼状を書こう	手紙の書き方を学習し、実際に書く					
	補習	社会に目を向けて	新聞の読み方を学習する					
	補習	自分の考えを深めながら読もう						
	評価の方法	・授業プリント ・成果物 ・ノート ・ペーパーテスト ・授業観察 ・振り返りシート						

公民科シラバス

学科	電気	学年	1	教科名	公民	科目名 [単位数]	公共(2)	授業形態	講義、演習	
教科書・副教材等		7実教 公共704 公共								
目 標	現代社会への関心を高め、いかに生きるかを主体的に考えることの大切さを自覚させる。身近な地域と社会の関わりについて理解を深める。								評価の観点	
評価観点の規準	観点①知識・技能	内容を理解し知識として定着できたか。身につけた知識を活用できたか。						観点① 知識・技能	観点② 思考・判断・表現	観点③ 主体的に学習に取り組む態度
	観点②思考・判断・表現	自分で思考し判断して答えを導き出したか。自分の意見を表現することができたか。								
	観点③主体的に学習に取り組む態度	よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとしているか。								
学期	週	単元名	学習内容	到達度目標						
1	1	第1部 公共の扉 第1章 社会を作る私たち	1青年期とは 2自己形成の課題(1) 3自己形成の課題(2) 4職業生活と社会参加 5伝統・文化と私たち	・青年期の意義と特徴、青年期における発達課題について学習する。 ・働くことの意義を理解し、職業観を形成する。	○	○	○			
	2									
	3	第2章人間としてよく生きる	1古代ギリシアの人間観 2科学と人間 3自由の実現 4社会を作る人間	・自由について、社会参画や公共性の確立について思索した思想家の主張を学習する。	○	○	○			
	4	第3章他者とともに生きる	1人間と幸福 2公正な社会をめざして	・不平等や格差の問題に対して社会的公正の是正についての思想家の主張を学習する。	○	○	○			
	5	第4章民主社会の倫理	1人間の尊厳と平等 2自由・権利と責任・義務	・人間の尊厳と平等の実現についてその意義、現代の動向を学習する。	○	○	○			
	6	定期考査	中間考査		1学期前半の学習内容を確認する。	○	○			
	7	第5章民主国家における基本原理	1民主政治の成立 2民主政治の基本原則 3民主政治のしくみと課題 4世界の主な政治制度	・民主政治の誕生とその基本原理について学習する。 ・基本的人権、国民主権、権力分立について、内容と意義を学習する。 ・世界の政治体制(議院内閣制・大統領制)について、理解する。	○	○	○			
	8									
	9	第2部 よりよい社会の形成に参加する私たち	1日本国憲法の成立 2日本国憲法の基本的性格 3自由で生きる権利 4平等で生きる権利 5社会権と参政権・請求権 6新しい人権 7人権の広がりと公共の福祉 8平和主義とわが国の安全 9こんにちの防衛問題	・日本国憲法の特徴を理解する。 ・日本国憲法の基本原理(国民主権、基本的人権の尊重、平和主義)について学習する。 ・日本国憲法で保障されている権利について理解する。	○	○	○			
	10	第1章日本国憲法の基本的性格								
	11									
	12									
	13	定期考査	期末考査及び補充学習		1学期後半の学習内容を確認する。	○	○			
2	14	第2章日本の政治機構と政治参加	1政治機構と国会 2行政権と行政異能の拡大 3公正な裁判の保障 4地方自治と住民福祉 5政党政治 6選挙制度 7世論と政治参加	・三権(国会、内閣、裁判所)相互の関係と、それぞれの仕組み、役割を理解する。 ・政治参加の手段としての選挙制度の仕組みや課題について学習する。 ・政党の役割を学習する。 ・地方自治の仕組みと課題について学習する。 ・政治参加の様々な方法について考える。	○	○	○			
	15									
	16									
	17	2 現代の経済社会と国民生活 第1章現代の経済社会	1経済主体と経済活動の意義 2経済社会の変容 3市場のしくみ 4市場の失敗 5現代の企業 6国民所得 7経済成長と国民の福祉 8金融の役割 9日本銀行の役割 10財政の役割と租税 11日本の財政の課題	・現代の経済社会における企業、政府の果たしている役割を学習する。 ・租税、金融、財政の仕組みや役割について学習する。	○	○	○			
	18									
	19									
	20									
	21	定期考査	中間考査		2学期前半の学習内容を確認する。	○	○			
	22	第2章日本経済の特徴と国民生活	1戦後日本経済の成長と課題 2転機に立つ日本経済 3経済社会の変化と中小企業 4農業と食料問題 5消費者問題 6公害の防止と環境保全 7労働問題と労働者の権利 8こんにちの労働問題 9社会保障の役割 10社会保障制度の課題	・日本経済の歩みと課題について学習する。 ・産業構造の変化、雇用と労働問題、公害の防止と環境保全などについて学び、経済主体としての企業や個人の社会的責任について考える。 ・消費者問題、労働問題、社会保障問題などを自分の生活とむすびつけながら考える	○	○	○			
	23									
24										
25										
26										
27	定期考査	期末考査及び補充学習		2学期後半の学習内容を確認する。	○	○				
3	28	3 国際社会と人類の課題 第1章国際政治の動向と課題	1国際社会と国際法 2国際連合と国際協力 3こんにちの国際政治 4人種・民族問題 5軍拡競争から軍縮へ 6国際平和と日本の役割	・今日の国際社会の構造、国際法の意義と役割を学習する。 ・国際連合の組織と役割を学習する。 ・国際政治の流れを理解し、国際社会における日本や個人の果たす役割や責任を考える。	○	○	○			
	29									
	30									
	31	第2章国際経済の動向と課題	1貿易と国際収支 2外国為替市場のしくみ 3第二次世界大戦後の国際経済 4地域的経済統合の進展 5国際経済のつながりと課題 6発展途上国の諸課題と日本の役割	・貿易の意義と国際収支の現状、為替相場の仕組みなど、国際経済の基礎的事項について、理解する。 ・国際的な貧困や格差など世界の課題を知り、解決に向けて考察する。	○	○	○			
	32									
	33	第3部 持続可能な社会づくりの主体となる私たち	持続可能な社会をめざして	・現代社会の諸問題について課題を設定して考察、解決の方策を考えまとめる。	○	○	○			
	34									
	35	定期考査	学年末考査及び補充学習		3学期の学習内容を確認する。	○	○			

評価の方法	【授業等】 ・ワークシート、課題、発表、Q&A 【定期考査】 ・テストの設問
-------	---

保健体育科シラバス

学科	電気	学年	1	教科名	保健体育	科目名 [単位数]	体育 [1]	授業形態	演習 講義	評価の観点		
教科書・副教材等		現代高等保健体育(50大修館 保体701)										
目 標		各種の運動の合理的な実戦を通して、運動技能を高め運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるようにするとともに、体の調子を整え、体力の向上を図り、公正、協力、責任などの態度を育て、生涯を通じて、継続的に運動ができる資質や能力を育てる						観点①知識・技能 観点②思考・判断・表現 観点③主体的に学習に取り組む態度				
評価観点の規準		観点①知識・技能		自分や仲間の動きを観察して課題を見つけることが、学習の成果を高めるという理解できた。								
		観点②思考・判断・表現		これまで学んだ知識や技能を活用して課題解決に有効な方法を選択し、計画を立てることができた。								
		観点③主体的に学習に取り組む態度		自分の役割に主体的に取り組み、練習や実践、仲間との話し合いに積極的に参加することができた。								
学期	週	単元名	学習内容	到達度目標	観点①知識・技能	観点②思考・判断・表現	観点③主体的に学習に取り組む態度					
1	1	体づくり運動	オリエンテーション及び体づくり運動	強化の意義、1年間を通じて、授業に対する注意事項を理解する。集団で行動するために必要な集団行動を身に付ける。体力の現状を把握し体力要素の意味を理解して、体力改善に生かす。スポーツテストの種目練習、その体力要素に関する体力を高める運動を通じて、各体力の要素を高める。	○	○	○					
	2				○	○	○					
	3				○	○	○					
	4				○	○	○					
	5	定期考査	1学期中間考査		○	○	○					
	6	フレッシュテニス	ルール サービス レシーブ ゲーム	ネット型のゲームの特性を理解し、相手の動きや球種に応じた作戦を立て、シングルス及びダブルスのゲームができるようにする。ダブルスに関わる技能としては相手の球種に対応するためのお互いの位置取り方などパートナーとの連携などでの自己の役割を理解し、ゲームで生かせるようにする。個人的技能としては、フォアハンド、バックハンドによるロング、ショート、カットなどの打法、サービス、レシーブなどを身に付けるようにする。	○	○	○					
	7				○	○	○					
	8				○	○	○					
	9				○	○	○					
	10		球技大会	フレッシュテニスで技能、戦術、加えてチームへの協力、大会運営にも積極的に参加する。	○	○	○					
	11	体育理論	スポーツの技術と戦術	スポーツにおける技術と技能の違い、クローズドスキルとオープンスキルの違い、戦術・作戦・戦略の違いについて理解し、説明することができる。	○	○	○					
	12				○	○	○					
	13	定期考査	1学期期末考査		○	○	○					
2	14	体づくり運動	オリエンテーションおよび体づくり運動	体育に関する意義、注意事項を理解する。長期休業後において、体づくり運動で、体の調子を整えるようにする。	○	○	○					
	15				○	○	○					
	16	ダンス	創作ダンス	現代的なリズムに乗ってリズムカルに身体を動かし、身体の解放感を味わい仲間と交流することができるようにする。	○	○	○					
	17				○	○	○					
	18	マット運動	前転 開脚前転 伸膝前転 倒立前転	自己の能力に応じて技を選択、習得し、それらの技を組み合わせる連続技とする。また、技を改善したり、技を新たに加えたりして、演技の内容を豊かにする。	○	○	○					
	19				○	○	○					
	20	(定期考査)	2学期中間考査		○	○	○					
	21	バドミントン	基本技能 応用技能 審判法 ゲーム	ラケットやシャトルを使うネット型ゲームの特性を理解し、ハイクリア、スマッシュ、ドロップ、ドライブ、ヘアピンなどのフライングを使い分け、相手の動きやフライングに対応したシングルス試合展開ができるようにする。	○	○	○					
	22				○	○	○					
	23				○	○	○					
24	○				○	○						
25	体育理論	生涯スポーツの見方・考え方	社会の変化にともなうスポーツの役割と楽しみ方の変化を理解し、ライフステージに対応したスポーツの楽しみ方について、基礎的な事項を理解している。	○	○	○						
26				○	○	○						
27	定期考査	2学期期末考査		○	○	○						
3	28	体づくり運動	オリエンテーションおよび体づくり運動	体育に関する意義、注意事項を理解する。長期休業後において、体づくり運動で、体の調子を整えることができるようにする。	○	○	○					
	29				○	○	○					
	30	バスケットボール	個人技術 オフェンス技術 つなぎの技術 ディフェンス技術 ゲーム	ゴール型のゲームの特性を理解し、集団技能や個人的技能を活用して学習段階に応じて作戦を立て、ゲームをする。集団的技能としては、速攻、セットオフェンス、マンツーマンディフェンス、ゾーンディフェンス等での自己の役割を理解し、ゲームで生かす。個人的技能としては、パス、キャッチ、ドリブル、シュート、フットワーク、フェイントなどを身に付ける。	○	○	○					
	31				○	○	○					
	32				○	○	○					
	33				○	○	○					
	34	サッカー	フットサル	手を使わずボールを扱いゴールにシュートして得点することを競うゴール型のゲームの特性を理解し個人的技能であるパス、トラップ、シュート、ドリブルなどを身につけてゲームに生かすことができるようにする。	○	○	○					
	35	定期考査	学年末考査		○	○	○					

評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> ・出席状況 ・授業での活動状況 ・自作課題プリントの取り組み状況 ・定期考査
-------	---

保健体育科シラバス

学科	電気	学年	1	教科名	保健体育	科目名 [単位数]	保健 [1]	授業形態	講義 演習
教科書・副教材等		現代高等保健体育(50大修館 保体701)							
目 標		健康問題や社会の変化とともに変わってきた「健康」のとらえ方を学ぶとともに、現代の健康問題とその対策について理解を深めることができる。							
評価観点の規準		観点①知識・技能	健康水準及び疾病構造の変化には、科学技術の発展及び生活様式や労働形態を含む社会の状況がかかわっていることについて理解している。					評価の観点 観点①知識・技能 観点②思考・判断・表現 観点③主体的に学習に取り組む態度	
		観点②思考・判断・表現	健康の考え方について、健康にかかわる原則や概念をもとに整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。						
		観点③主体的に学習に取り組む態度	健康の考え方について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。						
学期	週	単元名	学習内容	到達度目標	観点①知識・技能	観点②思考・判断・表現	観点③主体的に学習に取り組む態度		
1	1	現代社会と健康	健康の考え方と成り立ち	さまざまな健康の考え方や健康を成り立たせている要因について例を挙げて説明する。			○		
	2		私たちの健康のすがた	わが国における健康水準の変化、わが国における健康問題の変化について理解し、説明することができる。			○		
	3		生活習慣病とその予防と回復	生活習慣病について呼称の由来や病例を説明することができ、また、生活習慣病の予防について理解し、説明することができる。		○			
	4				定期考査		○	○	
	5		がんの原因と予防	がんの主な治療法や緩和ケア、がん検診の普及や社会的な対策について説明できる。			○		
	6				がんの治療と回復		○		
	7		運動と健康	健康から見た運動の意義、健康づくりのための運動習慣の形成について理解し、説明することができる。		○			
	8		運動と健康	健康的な食生活の重要性と意義、健康的な食生活習慣の形成について理解し、説明することができる。		○			
	9		休養・睡眠と健康	健康からみた休養・睡眠の意義、健康からみたよりよい休養・睡眠のとり方について理解し、説明することができる。		○			
	10		喫煙と健康	喫煙の健康影響、喫煙開始の要因と依存性、喫煙に対する日本や世界の対策について理解し、説明することができる。				○	
	11				定期考査		○	○	
	12								
	13								
2	14	現代社会と健康	飲酒と健康	飲酒による健康への短期的および長期的影響、飲酒の開始要因と社会問題、飲酒の健康被害を防ぐさまざまな対策について理解し、説明することができる。			○		
	15		薬物乱用と健康	薬物乱用や薬物依存による健康への悪影響、薬物開始要因と社会問題、薬物乱用防止による健康被害を防ぐさまざまな対策について理解し、説明することができる。			○		
	16				精神疾患の特徴			○	
	17		精神疾患の予防	精神疾患の発病の要因と主な症状、現代社会の精神保健の課題挙げることができる。また予防や早期発見の方法、適切な治療や回復のための社会環境について説明できる。		○			
	18		精神疾患からの回復			○			
	19		現代の感染症	感染症、新たに注目される感染症、再び問題となっている感染症について理解し、説明することができる。		○			
	20		感染症の予防	感染症予防の原則、現代の感染症についての社会と個人に分けた対策について理解し、説明することができる。		○			
	21		性感染症・エイズとその予防	性感染症・エイズとは何か、性感染症・エイズについての個人と社会に分けた予防対策について理解し、説明することができる。		○			
	22		健康に関する意思決定・行動選択	意志決定・行動選択とそれに影響を与える要因、健康的な意志決定・行動選択を実現する工夫について理解し、説明することができる。			○		
	23		健康に関する環境づくり				○		
24	定期考査			○	○				
3	25	安全な社会生活	事故の現状と発生要因	事故の現状とその要因について理解し、説明することができる。			○		
	26		安全な社会の形成	安全な社会づくりのための法的な整備と施設・設備の充実、車の安全性の向上について理解し、説明することができる。			○		
	27		交通における安全	安全な運転のための資質、交通事故の責任と補償について理解し、説明することができる。			○		
	28		応急手当の意義とその基本	応急手当の意義やその手順について理解し、説明することができる。		○			
	29		日常的な応急手当	けがの応急手当、熱中症の応急手当について理解し、説明することができる。		○			
	30		心配蘇生法	心肺蘇生法の原理と意義、心肺蘇生法の各手順について理解し、説明することができる。		○			
	31		定期考査			○	○		
	32								

評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> 出席状況 授業での活動状況 自作課題プリントの取り組み状況 定期考査
-------	---

英語科シラバス

学科	電気	学年	1	教科名	外国語	科目名 [単位数]	英語コミュニケーション I [2]	授業形態	講義・演習
教科書・副教材等		2東書 CI / 701「東京書籍 All Aboard! English Communication I」							
目標									
中学校での学習事項を確認しながら新しい語法を学び、身近で興味を引く話題を通して基本的な英語でのコミュニケーション能力を育成する。									
評価観点の規準									
観点①知識・技能		単語や表現を覚え、言語活動を行うことによって、実際の意思疎通ができる技能を身につける。		観点②思考・判断・表現		意思疎通を行う目的や場面、状況などに応じて適切な英語で表現でやり取りができるようにする。		観点③主体的に学習に取り組む態度	
観点③主体的に学習に取り組む態度		質問に対する発話を適切に行ったり、適切な準備をして課題提出やプレゼンや発表などを行える。							
学期	週	単元名	学習内容	到達度目標	観点①知識・技能	観点②思考・判断・表現	観点③主体的に学習に取り組む態度		
1	1	Warm-Up, Pre-Lesson	アルファベット、教室で使う表現 be動詞、一般動詞	アルファベットを発音し、正しく綴ることができる。教室で使う表現を学び、be動詞と一般動詞を使って正しく表現できる。	○	○	○		
	2	Lesson 1	Breakfast around the World①	簡単な表現で身のまわりのことについて英語で紹介できる。	○	○	○		
	3		Breakfast around the World②	過去表現を理解し、簡単な過去の出来事について表現できる。	○	○	○		
	4	Lesson 2	Australia's Cute Quokkas①	自分の好きな動物や物事の紹介を英語で行える。相手の紹介発表についての話が概ね理解できる。	○	○	○		
	5		Australia's Cute Quokkas②	進行形の表現を理解し、それを使って簡単な表現ができる。	○	○	○		
	6	定期考査	中間考査及び補充学習	1学期前半の学習内容を確認する。	○	○	○		
	7	Lesson 3	A Train Driver in Sanriku①	三陸鉄道の運転士の話を読み、可能と未来の助動詞を使って簡単な表現ができる。	○	○	○		
	8		A Train Driver in Sanriku②	助動詞can, willの用法について理解し、それを使って簡単な表現ができる。	○	○	○		
	9	Lesson 4	A miracle mirror①	英語のメールの形式について理解し、紹介したい場所について簡単な英語で表現できる。	○	○	○		
	10		A miracle mirror②	不定詞の用法について理解し、3種類の用法を使って表現できる。	○	○	○		
	11	Communication 1&2	道案内	道案内の会話表現を学び、その聞き取りができる。	○	○	○		
	12	文法のまとめ 1	文の種類と基本文型	文の種類・基本文型・代名詞などを復習する。1学期に学んだ文法事項の演習を行う。	○	○	○		
	13	定期考査	期末考査及び補充学習	1学期後半の学習内容を確認する。	○	○	○		
2	14	演習	1学期の復習	1学期中に学習した重要語句・基礎文法事項を確認し、練習する。	○	○	○		
	15	Lesson 5	Learning from the Sea①	将来の夢や目標を表す表現を理解し、自分の夢や目標について簡単な英語で表現できる。	○	○	○		
	16		Learning from the Sea②	動名詞の用法について理解し、使用された英文の意味が理解できる。	○	○	○		
	17	Lesson 6	A Funny Picture from the Edo Period①	歌川国芳の浮世絵と現代マンガの関連性についてのスピーチを理解し、簡単なスピーチができる。	○	○	○		
	18		A Funny Picture from the Edo Period②	受け身表現について理解し、簡単な受け身文をつくることができる。	○	○	○		
	19	文法のまとめ 2	受け身表現・動名詞など	例文を用いて受け身と動名詞の表現を確認し、それぞれの用法を練習する。	○	○	○		
	20	定期考査	中間考査及び補充学習	2学期前半の学習内容を確認する。	○	○	○		
	21	Reading 1	Short stories in English	場面や登場人物の心情を理解し、正しいリズムやイントネーションで音読できる。	○	○	○		
	22	Lesson 7	A Diary of Hope①	アンネ・フランクの話を読み、関心のある人物を簡単な英語で紹介できる。	○	○	○		
	23		A Diary of Hope②	比較表現について理解し、基本的な単語を用いて表現できる。	○	○	○		
24	Lesson 8	A Door to a New Life①	人の生活を豊かにするロボットについて考え、その内容を提案できる。	○	○	○			
25		A Door to a New Life②	現在完了について3種の意味を理解し、それを用いた簡単な表現ができる。	○	○	○			
26	Communication 3	乗り換え案内	乗り換え案内の会話表現を学び、その聞き取りが概ねできる。	○	○	○			
27	定期考査	期末考査及び補充学習	2学期後半の学習内容を確認する。	○	○	○			
3	28	Lesson 9	Fighting Plastic Pollution①	地球環境を取り巻く問題を理解し、環境を守るためにできることを考えて、意見を述べるができる。	○	○	○		
	29		Fighting Plastic Pollution②	名詞を後ろから説明する分詞について理解し、文中で使われている表現の意味を概ねつかむことができる。	○	○	○		
	30	Lesson 10	Pigs from across the Sea①	沖縄の戦争に関係した英文を読んで理解し、世界各地を簡単な英語で短く説明することができる。	○	○	○		
	31		Pigs from across the Sea②	関係代名詞(主格)の用法を理解し、先行詞による使い分けを行いながら簡単な英文を書くことができる。	○	○	○		
	32	Reading 2	The Wizard of Oz①	物語文を読み、内容の流れに沿って大切な情報を適切に読み取ることができる。	○	○	○		
	33		The Wizard of Oz②	場面や登場人物の心情を理解し、正しいリズムやイントネーションで音読することができる。	○	○	○		
	34	文法のまとめ 3	関係代名詞、比較など	3学期に学習した文法事項について、文法問題を通してそれぞれの用法を確認する。	○	○	○		
35	定期考査	学年末考査及び補充学習	3学期の学習内容を確認する。	○	○	○			
評価の方法		【授業等】 ・ワークシートによるクイズ、小テスト、リスニングテスト、課題、プレゼンテーション発表 【定期考査】 ・テストの設問、リスニングテスト、インタビューテスト							

シラバス

学科	電気科	学年	1	教科名	家庭	科目名 [単位数]	家庭総合 (2単位)	授業形態	講義・実習・実験			
教科書・副教材等	大修館書店 家総705 Creative Living「家庭総合」で生活をつくらう											
目 標	・人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などについて、生活を主体的に営むために必要な科学的な理解と、それらに関係する技能を体験的・総合的に身につけるようにする。 ・家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見出して課題を設定し、生涯を見通して課題を解決する力を養う。 ・社会の様々な人々と協働しながら、生活文化を継承し、家庭や地域の生活の向上を図ろうとする実践的な態度を養う。							評価の観点	観点①知識・技能	観点②思考・判断・表現	観点③主体的に学習に取り組む態度	
評価観点の規準	観点①知識・技能		生活を主体的に営むための知識と、それに係る技能を身につけている。		観点②思考・判断・表現		生涯を見通して、家庭や地域社会における課題を設定し、解決する力を身につけている。		観点③主体的に学習に取り組む態度		社会の様々な人と協働し、課題の解決に主体的に取り組んだり、家庭や社会生活の向上を図るために実践しようとしている。	
学期	週	単元名	学習内容	到達度目標	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度					
1	1	第1章 生活のマネジメント	①生涯、発達し続ける	・ライフステージと発達課題について考え、未来の自分についてプランを立てることができる。	○	○	○					
	2		②意思決定を重ねてつくる人生	・意思決定と生活資源について学び、どのようなライフコースを歩むかプランを作成する。	○	○	○					
	3		③どんな生き方をする？	・様々なライフスタイルを知り、どのような選択をするか、意見交換をしながら自分の意見をまとめることができる。	○	○	○					
	4		④月の予算を立ててみよう	・収入と支出のバランスを考え、金銭を管理してマネジメントすることができるようになる。	○	○	○					
	5	第2章 青年期の課題と自立	①子どもからおとなへ	・青年期の発達課題を学び、自己実現に向けた自己理解をすることができる。	○	○	○					
	6	定期考査	中間考査及び補充学習	1学期前半の学習内容を確認する。	○	○	○					
	7	第2章 青年期の課題と自立	②自立の達成をめざそう	・自立の意味を学び、共生社会の実現に向けた課題や持続可能な社会について考え、意見をまとめることができる。	○	○	○					
	8		③いろいろな価値観にふれてみよう	・人には感じ方や価値観の違いがあることを話し合い、その違いについて理解できる。	○	○	○					
	9	第3章 家族・家庭生活のマネジメント	①家族って何だろう	・「家族」の意味について学び、現在の日本社会における現状について理解することができる。	○	○	○					
	10		②わかってくれて当然？	・家族関係をつくる2つの力について学び、家族間で生じる問題について対応を考えることができる。	○	○	○					
	11		③生活マネジメントの拠点	・家庭の機能について考え、家庭の機能の社会化について理解できる。	○	○	○					
	12		④法律から見る家族・家庭	・家族にかかわる法律について知る。	○	○	○					
	13	定期考査	期末考査及び補充学習	1学期後半の学習内容を確認する。	○	○	○					
2	14	第3章 家族・家庭生活のマネジメント	⑤ダイバーシティの実現をめざす	・男女の格差や多様性について学習し、日本の現状について理解できる。	○	○	○					
	15		⑥身近な相談窓口を知っておこう	・家族間の問題でも周囲に相談できることを学び、その相談窓口について調べて発表する。	○	○	○					
	16	第4章 子どもの生活と子育てのマネジメント	①子どもの世界を知る	・子どもの時期の大切さについて学び、どのようなかわり方が必要かを知る。	○	○	○					
	17		②命の誕生	・妊娠、出産と胎児の発育について学び、理解できる。	○	○	○					
	18		③こんにちは、赤ちゃん	・乳児の成長と発達について学び、乳児の自己表現についてその意味を理解することができる。	○	○	○					
	19		④好奇心いっぱい！	・幼児の成長と発達について学び、幼児が社会性を獲得していく過程を理解できる。	○	○	○					
	20	定期考査	中間考査及び補充学習	2学期前半の学習内容を確認する。	○	○	○					
	21	第4章 子どもの生活と子育てのマネジメント	⑤子どものいる暮らし	・「保育」について学び、どのように乳幼児に関わるべきかを理解できる。	○	○	○					
	22		⑥子どもの仕事は「遊び」	・子ども発達において、いかに遊びが大切であるかを理解することができる。	○	○	○					
	23		⑦リサイクルおもちゃをつくってみよう	・身のまわりの廃材を利用して、おもちゃを作製する。	○	○	○					
	24		⑧子どもの健康と事故	・成長途上にある子どもの健康について理解し、気をつける点について知る。	○	○	○					
	25		⑨親になるということ	・親になることの意味を学び、父親と母親との関係についても改めて考えて、発表する。	○	○	○					
	26		⑩社会で子育て	・社会における子どもの人権について学び、少子化の問題についても現状を知る。	○	○	○					
	27	定期考査	期末考査及び補充学習	2学期後半の学習内容を確認する。	○	○	○					
3	28	第9章 食生活のマネジメント	①体と心を満たす食事	・生きていく上で、いかに食事が大切な役割をしているかを理解できる。	○	○	○					
	29		②イエローカードかも？	・自分自身の食行動をチェックし、食事の摂り方が適切かどうか確認して改善策をまとめることができる。	○	○	○					
	30		③日本の食文化“WASHOKU”	・日本と世界の食文化について学び、和食の特徴と利点について理解できる。	○	○	○					
	31		④栄養バランスのよい食事	・人が健康であるためには、どのような栄養素をどの程度摂ればよいかを知る。	○	○	○					
	32		⑤炭水化物を摂る	・炭水化物の種類について学び、体内でどのような働きをするかを知る。	○	○	○					
	33		⑥脂質を摂る	・脂質の種類について学び、体内でどのような働きをするかを知る。	○	○	○					
	34		⑦たんぱく質を摂る	・たんぱく質の成り立ちについて学び、体内での働きについて知る。	○	○	○					
	35	定期考査	学年末考査及び補充学習	3学期の学習内容を確認する。	○	○	○					

評価の方法	【授業等】 ・ワークシート、課題、プレゼンテーション発表、Q&A 【定期考査】 ・テストの設問
-------	--

電気科シラバス

学科	電気	学年	1	教科名	工業	科目名 [単位数]	工業情報数理 [2]	授業形態		講義・演習			
教科書・副教材等		7実教 工業718 工業情報数理											
目 標		1. 社会における情報化の進展と情報の意義や役割を理解する。 2. 情報技術に関する知識と技術を習得する。 3. 工業の各分野において情報及び情報手段を主体的に活用する能力と態度を身につける。								評価の観点			
評価観点の規準		観点①(知識・技能)	情報技術に関する基礎的な知識を理解し、活用できる技術を身につけている。								観点① 知識・技能・表現	観点② 知識・技能・表現	観点③ 主体的に学習に取り組む態度
		観点②(思考・判断・表現)	諸問題について自ら考え、判断して身につけた知識や技能を活用して解決法を表現できる。										
		観点③(主体的に学習に取り組む態度)	情報技術に関する基礎的な知識や技術の習得に意欲があり、かつ、創造的・実践的な態度を身につけている。										
学期	週	単元名	学習内容		到達度目標								
1	1	第1章 産業社会と情報技術	1. コンピュータの構成と特徴		コンピュータの基本構成や特徴を理解し、説明できる。		○	○					
	2		2. 情報化の進展と産業社会		コンピュータが産業の発展に貢献している現状を理解し、説明できる。		○	○					
	3		3. 情報化社会の権利とモラル		コンピュータ活用における権利とモラルについて理解し、説明できる。		○	○					
	4		4. 情報のセキュリティ管理		コンピュータ活用における危機管理について理解し、活用できる。		○	○					
	5	第2章 コンピュータの基本操作とソフトウェア	1. コンピュータの基本操作		コンピュータの基本操作を身につけ、活用できる。		○	○					
	6		2. ソフトウェアの基礎		OSの基本操作を理解し、アプリケーションソフトを活用できる。		○	○					
	7		3. アプリケーションソフトウェア				○	○					
	8	定期考査	第1学期中間考査		既習事項について理解の度合を確認する。		○	○					
	9	第3章 プログラミングの基礎	1. プログラム言語		プログラム言語について説明できる。		○	○					
	10		2. プログラムのつくり方		アルゴリズムについて理解し、プログラム作成について説明できる。		○	○					
	11		3. 流れ図とアルゴリズム		基本的な流れ図と構造化プログラミングの意義を理解し、活用できる。		○	○					
	12	第4章 BASICによるプログラミング	1. BASICの特徴		BASICの特徴を理解し、説明できる。		○	○					
	13		2. 四則計算のプログラム		データ入出力、関数、データの取扱を理解し、簡単なプログラムを作成できる。		○	○					
14	定期考査	第1学期期末考査		既習事項について理解の度合を確認する。		○	○						
2	14	第4章 BASICによるプログラミング	4. データの読み取り		READ・DATA文について理解し、活用できる。		○	○					
	15		5. 選択処理		条件による選択や繰り返しの書式を理解し、活用できる。		○	○					
	16		6. 繰り返し処理		配列の利用と書式を理解し、説明できる。		○	○					
	17		7. 配列処理		外部関数について説明できる。		○	○					
	18	定期考査	第2学期中間考査		既習事項について理解の度合を確認する。		○	○					
	19	第5章 Cによるプログラミング	1. Cの特徴		C言語の特徴を理解し、簡単なプログラムが作成できる。		○	○					
	20		2. 四則計算のプログラム		C言語による選択、繰り返しの処理プログラムを理解し、説明できる。		○	○					
	21		3. 選択処理		C言語による配列宣言、関数の使い方を理解し、説明できる。		○	○					
	22	第5章 Cによるプログラミング	4. 繰り返し処理		外部記憶装置にデータのファイル保存ができる。		○	○					
	23		5. 配列		コンピュータデータの表し方を理解し、説明できる。		○	○					
	24	第6章 ハードウェア	6. 関数		論理回路と真理値表の関連について理解し、コンピュータ内での実際の処理について説明できる。		○	○					
	25		7. Cによる数値処理		コンピュータネットワークの概要		○	○					
	26		8. コンピュータネットワークの通信技術		コンピュータネットワークを利用したデータ通信について説明できる。		○	○					
27	第7章 コンピュータネットワーク	1. コンピュータ制御の概要		コンピュータ制御の考え方を理解し、説明できる。		○	○						
28		2. 制御プログラミング		組み込み技術の概要を知り、特徴を説明できる。		○	○						
29	定期考査	第2学期期末考査		既習事項について理解の度合を確認する。		○	○						
3	30	第9章 情報技術の活用	1. マルチメディア		マルチメディアの概要と情報のデジタル化について理解し、活用できる。		○	○					
	31		2. プレゼンテーション		収集した情報を元にアプリケーションソフトを活用して、プレゼンテーションができる。		○	○					
	32		3. 文書の電子化		情報を文書として保管し活用する方法を身につける。		○	○					
	33		4. 問題の発見・解決		情報技術活用における問題点を見だし、その解決法を見いだせる。		○	○					
	34	第10章 数値処理	1. 単位と数値処理		量の名称・量記号・単位(SI)について理解し、説明できる。		○	○					
	35		2. 実験と数値処理		実験データを可視化し、その特徴について説明できる。		○	○					
	36		3. モデル化とシミュレーション		いろいろな事象がモデル化でき数式として扱えることを説明できる。		○	○					
	37	定期考査	学年末考査		既習事項について理解の度合を確認する。		○	○					
評価の方法		考査評価 課題レポート評価 学習への取り組み状況評価											